

# ぎふ未来音楽展

ガラ・コンサート&シンポジウム

作曲 ピアノ  
一柳 慧  
ICHIYANAGI KEI



笙  
宮田まゆみ  
MIYATA MAYUMI



作曲  
福島 諭  
FUKUSHIMA SATOSHI



作曲 パネリスト  
三輪 眞弘  
MITSUWA MASAHIRO



作曲  
安野 太郎  
YASUNO TARO



未来を奏でる。未来を語る。

ここから始まる、音楽と未来の冒険!

チケット

ガラ・コンサート&シンポジウム  
全席自由 2,000円「サラマンカメイト」1,800円

※学生半額(30歳まで) ※未就学児の入場は、遠慮ください。  
※学生券車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみ取扱いです。

サラマンカメイト/一般 同時発売

2018.6/26(火) \*窓口9時~11時 \*電話10時~11時 \*インターネット翌日0時~

主催:サラマンカホール

パネリスト  
森田 順子  
MORITA JUNIKO



パネリスト  
三浦 彩夏  
MURA AKAHA



クラリネット  
板倉 康明  
ITAKURA YASUAKI



モデレーター  
浦久 俊彦  
URAHISA TOSHIHIKO



2018.9/9(日) サラマンカホール  
岐阜市薮田南5-14-53

14:00-15:30 | ガラ・コンサート「未来へのファンファーレ」  
[13:30開場]

16:00-18:00 | シンポジウム「1000年後の世界と未来の音楽」

いま、わたしたちはどのような世界を生きているのか。音楽はどのような未来を奏でるのか。

音楽界の第一線で活躍する人々とともに未来を音楽から考える、

岐阜から発信する、かつてない未来志向のシンポジウム&スペシャルガラ・コンサート

～日本の四季を未来の音楽にどう活かすか～

<夏の饗宴> 宮田 まゆみと日本の音世界 岐阜を主題とした未来音楽の試み
<秋の牧歌>
<冬の情景>
<春の歓び>
一柳 慧～即興の彩
メシアン～鳥たちの深淵

[プログラム]
武満 徹: 径 福島 諭:(CRACK)for trumpet and computer(世界初演)
安野 太郎: 自動演奏器械とパイオルガンと一人の演奏者の為の新作 ほか

～1000年後の世界にどのような音楽が鳴り響いているか～

[パネリスト]
一柳 慧、宮田 まゆみ、三輪 眞弘、森田 順子 ほか
[モデレーター]
浦久 俊彦(サラマンカホール音楽監督)

シンポジウム

ガラ・コンサート「未来へのファンファーレ」

〈出演〉

一柳 慧

作曲・ピアノ

1933年神戸生まれ。高校時代(1949年)に毎日音楽コンクール(現日本音楽コンクール)作曲部門に第1位入賞。作曲を平尾貴四郎、池内友次郎、ジョン・ケージに、ピアノを原智恵子、B・ウェプスターの各氏に師事。19歳(1952年)で渡米、でジュリアード音楽院卒業。この間にE・ケーリッジ賞、A・グレチャニコフ賞を受賞。帰国後、自作品並びに欧米の新しい作品の演奏と紹介でさまざまな分野に強い刺激を与える。尾高賞(5回)、フランス芸術文化勲章、毎日芸術賞、京都音楽大賞、サントリー賞ほか受賞多数。2008年文化功労者、2016年日本芸術院賞・恩賜賞を受賞。現在、神奈川芸術文化財団総監督などをとめ、現代音楽の普及にも携わる。

宮田 まゆみ

笙

東洋の伝統楽器「笙」を国際的に広めた第一人者。古典雅楽はもとより、武満徹、ジョン・ケージ、細川俊夫など現代作品の初演も数多く、ニューヨーク・フィル、BBC響、ベルリン・ドイツ響、リヨ国立管、チェコ・フィル、ベルギー王立歌劇場管、バンバルク響、N響、サイトウ・キネン・オーケストラほか国内外のトップオーケストラと数多く共演。ザルツブルク、ウィーン・モデルン、ルツェルン、シユレスヴィヒ・ホルシュタイン、パリの秋、アヴィニヨン、ダルムシュタット、ドナウエツィンゲン、タンゲルウッドをはじめとする各国の音楽祭への参加、ウィーン、パリ、アムステルダム、ミラノ、ニューヨークなどでリサイタルと幅広く活躍している。

三輪 眞弘

作曲

1958年東京に生まれる。1974年都立国立高校入学以来友人と共に結成したロックバンドを中心に音楽活動始め1978年渡独。国立ベルリン芸術大学で作曲をイサン・ユンに、1985年国立ロベルト・シューマン音楽大学でギュンター・ペッカーに師事する。卒業後は作曲家としてドイツを拠点に活動するが、ロベルト・シューマン音楽大学、メディア芸術大学(ケルン)の非常勤講師を勤め、1996年、岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー(IAMAS)の創設メンバーのひとりとして帰国。2001年より情報科学芸術大学院大学(IAMAS)教授。(社)日本作曲家協議会理事/日本電子音楽協会理事/先端芸術音楽創作学会、インターカレッジ運営委員会委員。

福島 諭

作曲

1977年新潟生まれ。IAMAS修了。作曲家。2002年よりコンピュータ処理と演奏者との対話的な関係によって成立する作曲作品を発表。また、即興演奏とコンピュータによる独自のセッションを試みるバンド、Mimizのメンバー。濱地潤一氏との交換作曲作品《愛容の対象》は2009年より開始され現在も作曲中である。2016年、G.F.G.SレベールよりCD「室内楽2011-2015」をリリースした。賞歴に2014年第十八回文化庁メディア芸術祭「アート部門」優秀賞など。日本電子音楽協会理事(2017-)。作曲を三輪眞弘氏に師事。www.shimaf.com

安野 太郎

作曲

1979年東京生まれ。2002年東京音楽大学作曲科卒業。2004年情報科学芸術大学院大学(IAMAS)修了。近年の代表作には自作自動演奏機械の為の音楽「ゾンビ音楽」シリーズ「大霊廟」シリーズ等がある。第7回JFC作曲賞(日本作曲家協議会)1位。第12回、17回、21回文化庁メディア芸術祭アート部門審査委員会推薦作品。ぎふ清流の国芸術祭 Art Award In the CUBE 2017 高橋源一郎賞。KDCC 2018奨励賞。2017年にワルシャワの音楽フェスティバルRadio Azja でソロ・コンサートを開催した。2019年第58回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館参加予定。

森田 順子

岐阜放送 代表取締役社長

岐阜市生まれ。幼少期からピアノやチェンバロに親しみ、長良川少年少女合唱団(現・岐阜少年少女合唱団)第3期生。現在は舞踊音楽やパロッド音楽にも興味を持つ。1983年岐阜放送入社。番組編成に携わる。その後、岐阜新聞社へ出向し、報道、広告部門等を担当。2007年岐阜放送に復帰後はブランド戦略室長、営業編成局長、常務取締役を歴任し、2014年12月に代表取締役社長就任。日本の地上波放送局では初の女性社長。1962年開局の岐阜放送は東海3県で唯一テレビ・ラジオ兼営局で、今年もAMIに加えFM放送もスタートした。コンサートの主催やアートギャラリーを運営するなど様々な文化事業も展開。サラマンカホール運営審議委員会委員。

板倉 康明

クラリネット・指揮

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て東京藝術大学音楽学部卒業。フランス政府給費留学生として渡仏し、パリ国立音楽院、パリ国立高等音楽院を卒業。故アンリット・ビュイグーロジェ氏から深い薫陶を受け、現在の多彩な演奏活動の礎を築いた。クラリネット奏者、指揮者としてのレパートリーは広範囲に渡り、特に世界初演を含む内外の現代作品の演奏には各方面から高い評価を得ている。2001年より東京シンフォニエッタ音楽監督指揮活動で日本音楽コンクール委員会特別賞、第18回中島健蔵音楽賞を受賞。国立音楽大学客員教授。

三浦 彩夏

トランペット

尚美ミュージックカレッジ専門学校 コンセルヴァトールディプロマ科修了。トランペットを本間千也・辻本憲一の両氏、室内楽を池田英三子、現代音楽を板倉康明の各氏に師事。これまでに、サイトウ・キネン・フェスティバル松本「若い人のための室内楽勉強会」及び小澤征爾音楽塾に参加。2014年、東京芸術劇場主催劇団ウィンドオーケストラアカデミー第1期生オーディション合格。2015年度ザルツブルク=モーツァルト国際室内楽コンクール審査員特別賞受賞。エリック・オービエ氏の推薦を受け、AAR Japan「難民を助ける会」東日本大震災復興支援のためのチャリティコンサートに出演。川崎室内管弦楽団、現代奏楽 Tokyo各メンバー。

浦久 俊彦

サラマンカホール音楽監督

文筆家、文化芸術プロデューサー。パリで音楽学、歴史社会学、哲学を学ぶ。フランスを拠点に20年以上にわたり、音楽・芸術分野だけでなく、M.O.F.(フランス最優秀職人の支援など、幅広く総合文化プロデューサーとしても活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、現在、浦久俊彦事務所代表。多彩な分野のアーティストのオリジナル企画を手がけるほか、一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、公益財団法人日仏会館文化事業委員、サラマンカホール音楽監督として、日本とヨーロッパの文化交流にも力を注いでいる。著書に「フランス・リストはなぜあなたを失神させたのか」(新潮社)、138億年の音楽史(講談社)がある。公式ホームページ: http://www.urahisa.com

サラマンカメイトのご案内

特典

- チケットの先行販売
●チケットの割引(1公演2枚まで)
●ダイレクトメールによるコンサートの案内
●グッズコーナーでの割引

※お電話(058-277-1110)でもお受けしております。
入会申込書を郵送いたします。
※年会費2,000円
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。
※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場



- JR岐阜駅から車で約5分(南口タクシー乗り場より約2km)
●JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分 ●無料駐車場完備

終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します 正面玄関前(北側)から出発します。

公共交通機関

- JR岐阜駅(北口)より「岐阜バス」で約20分
●名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
●JR西岐阜駅(南口)より「西ぎふ・くるくるバス」で約12分
●JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分



客席のご案内

